

用語説明

- 注) 1. 五十音順とし、長音記号「-」は配列上無視している。
2. _の表示のある用語は別に用語を解説している。

【あ】

亜鉛

青みをおびた銀白色の金属で、鉄製品のメッキ、乾電池の陰極、合金などに使用される。亜鉛は生物にとって必須元素で摂取量が不足すると成長の抑制または停止、食欲不振などが起こるが、多量に摂取すれば呼吸器・消化器に障害を起こす。

アクリロニトリル

無色の液体で、かすかな刺激臭がある。アクリル繊維、合成ゴム、合成樹脂、接着剤、塗料の原料などに使用される。蒸気吸入、皮膚接触などにより急性中毒が発生し、粘膜の刺激症状、頭痛、脱力、運動麻痺などが現れる。慢性毒性は取り扱い期間の増加に伴い頭痛、不眠など中枢神経症状と黄疸を起こす。

亜硝酸性窒素

亜硝酸塩に含まれる窒素量のことをいう。水や土壌中の有機物分解により生成したアンモニア塩が酸化されてできる。

アセトアルデヒド

無色の液体で、刺激臭がある。香料・合成樹脂・合成ゴムなどの製造原料、保存料、防カビ剤などに使用される。眼を刺激し、結膜炎を起こす。高濃度蒸気及び液は粘膜・皮膚に激しい炎症を起こし、気管支炎、肺浮腫が生じる。全身的には麻酔性がある。

アルキル水銀

一般に熱、酸素、水に対して安定である。古くは消毒、殺菌剤として使用された。肺や皮膚から容易に吸収され、体内で分解、排泄されにくいので体内蓄積が起こる。中毒例では腹痛、下痢、口渇などの報告がみられる。

安山岩

火山岩の一種で玄武岩とデイサイトの中間の性質をもつもの。有色鉱物の量比（色指数）や化学組成で定義するが、分類は人為的である。一般には色指数40または35～10、SiO₂量52～66%などの値が用いられている。

アンモニア態窒素

アンモニウム塩に含まれる窒素量のことをいう。水や土壌中の有機物の分解によって生成するアンモニウム塩はこれらの汚染度合の指標になる。

【い】

一酸化炭素

空気中で青い炎で燃えて二酸化炭素（CO₂）になる無色無臭の気体。

一酸化窒素

無色の気体で、液化しにくく空気よりやや重い。主な発生源は、火山の噴火や嫌気的条件下での窒素化合物に対する微生物の作用であると考えられている。

一般環境大気測定局

環境大気の汚染状況を常時監視することを目的として、二酸化硫黄、二酸化窒素などの大気汚染物質を常時測定するために設置された測定局。これらの測定結果は、環境基準の適否の判断、緊急時の措置の実施などに活用されるなど広く大気保全対策を講じていく際の基礎資料として活用されている。

色指数

岩石に含まれる有色鉱物（鉄マグネシウム鉱物）の量比（%）火成岩の分類に使われ、色指数0～30のものを優白岩、30～60のものを中色岩、60～100のものを優黒岩と呼ぶ。また、とくに90以上のものを超黒色岩と呼ぶことがある。

陰イオン界面活性剤

低濃度で界面張力を著しく変化させる物質で、洗浄、乳化、湿潤、染色助剤などに使用される。

【う】

【え】

営巢（えいそう）

子育てのために巣を作ること。

営巢木

巣がある樹木のこと。

塩化ビニルモノマー

食器の器具及び容器包装に使用されている塩化ビニル樹脂中に残存する。

塩素イオン

塩素イオンとは、水中に存在する塩素のことをいう。塩素は、常温で黄緑色の気体。冷却すると黄色の液体から黄白色の固体となる。酸化剤、上水の殺菌、漂白などに用いられるほか、塩素系有機・無機薬品製造原料として用いられる。

円磨度

礫、砂などのように機械的に壊された碎屑性粒子のかどや稜が、風化・侵食・運搬の過程で摩耗された程度の数学的には、かどおよび稜の平均半径/粒子の最大内接円の半径と定義されている。

【お】

音圧

媒質中の音波によって生じる媒質内圧力の静圧からの変化分。

音圧レベル

音圧を対数目盛に変換したもので、ある音の音圧レベル L_p は $L_p=20\log(p/p_0)$ で定義される。ただし、 p はある音の音圧 (Pa)、 p_0 は基準音圧 ($20\mu\text{Pa}$) である。

【か】

化学的酸素要求量（COD）

水中に含まれる汚濁物質（主に有機物）が酸化剤によって酸化される時、消費する酸化剤の量を、それに相当する酸素の量で表現したものをいう。

角礫岩

礫岩に似た粗粒の岩石で、破片が角張っていることが異なる。

花崗岩

優白質粗粒な酸性深成岩。主に石英・カリ長石・Na 斜長石からなり、少量の黒雲母・角閃石・輝石など有色鉱物を含む。

火砕岩

火山碎屑物からなる岩石、構成物の種類、粒子の大きさ、溶結の有無、堆積様式などのさまざま要因によって分類がなされている。凝灰岩、火山角礫岩、集塊岩などは代表的な火砕岩である。

火山碎屑物

火山噴出物のうち断片化した固体物質の総称・粒度により火山灰、火山礫、火山岩塊などに分類される。また、特殊な形や内部構造を有するものは火山弾、火山涙などと命名されている。断片化しない噴出物は溶岩であり、火山碎屑物が固結してできた岩石は凝灰岩、火山角礫岩、集塊岩などの火砕岩となる。

河川保全区域

河岸または河川管理施設を保全するために、河川区域に隣接する一定の区域を必要最小限度の区域に限り河川管理者が指定した区域。

褐色森林土壌

湿潤冷温帯の落葉広葉樹林や落葉広葉樹と常緑針葉樹の混交林下に発達する。日本では、北海道の低山地、丘陵地、並びに本州・四国・九州の山地や丘陵地に広く分布し、雨量が多いため、塩基飽和度の低い酸性褐色森林土が大半を占める。水分状況により、乾性、弱乾性、適潤性、弱湿性、湿性に分類される。

カドミウム

青白色の光沢を有する柔らかい金属で、合成樹脂安定剤、蓄電池極板、合金などに使用されている。体内に吸収されたカドミウムの1/2～1/3は肝と腎に蓄積して、腎皮質中のカドミウム濃度が一定に達すると腎機能異常が発現する。高濃度のカドミウムヒューム、粉じんを吸入すると急性の閉塞性肺疾患などを、環空中濃度が高いカドミウムを扱う作業者に咽喉の刺激感、肺気腫、タンパク尿などがみられる。

環境影響評価

環境汚染や自然環境の破壊を未然に防止するため開発行為が環境に及ぼす影響についてあらかじめ回避・低減するための情報公開に基づく手続き。このための調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、これに対する意見を求める。これらの意見を反映して事業の実施に際し、環境影響の回避・低減にどう努めるかを事業者は説明し、環境保全対策を実行する。こうして公害の防止、自然環境の保全、歴史的・文化的遺産の保全その他の環境保全の見地から適正な配慮がなされる手続き等をいう。

環境影響要因

環境要素に影響を及ぼす要因となる行為や事物。対象事業によってさまざまな要因が考えられる。

環境基準

環境基本法に定められており、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」のことをいう。現在、「大気汚染」、「騒音」、「水質汚濁」、「土壌汚染」について環境基準が定められている。

環境騒音

観測しようとする場所におけるすべてを含めた騒音。

【き】

凝灰岩

火山灰が固結してできた岩石の総称。火砕岩の一種。火山地域では溶岩とともによくみられる岩石である。厳密には火砕物の粒子が4mm以下の火砕岩をいうが、一般には特徴的に含まれる物質によって軽石凝灰岩、火山礫凝灰岩、結晶凝灰岩などの名称が便宜的に使われている。

距離減衰式

音や振動は、距離とともにその強さは小さくなり、いわゆる距離減衰と呼ばれる現象を呈する。建設作業騒音・振動、工場騒音・振動の影響は、再現性が良く、広く一般的に用いられている自由空間あるいは半自由空間における点音源の伝搬理論式（距離減衰式）を用いる。

【く】

クロム

銀白色の光沢のある金属で、硬度・融点が高く、耐食性・耐摩耗性に優れ、ステンレス鋼の重要成分となっている。メッキや顔料などにも使用されている。クロム中毒は皮膚潰瘍、刺激性皮膚炎、肺がんなどである。

クロロホルム

常温では無色の液体で、特有のエーテルのようなにおい（甘みのあるきついににおい）がある。フッ素樹脂の原料、溶剤などに使用されている。クロロホルムを扱う職場で肝の肥大、倦怠感、消化器障害が一部の人に認められている。

群生

同一種類の植物が、一ヶ所に群がって生えること。

【け】

蛍光 X 線分析

物質に十分高いエネルギーをもつ X 線を照射すると、構成元素に固有な特性 X 線を放出する。その波長と強度を分光結晶とカウンターを用いて測定すれば元素の種類と量比を決定できる。

頁岩

剥離性をもった泥質岩で、一方塊状のものが泥岩。剥離性は層理面に平行に発達し、堆積時に粒子が平面に並んでできる葉理が原因だったり、イライト・モンモリロナイトなどの粘土鉱物が続成作用に伴う地層の圧縮により定向配列して生じたりする。

建設作業振動

くい打ち機を使用する作業、ブレーカーを使用する作業などの建設作業に伴って発生する振動をいう。

建設作業騒音

くい打ち機を使用する作業、さく岩機を使用する作業などの建設作業に伴って発生する騒音をいう。

建設省土木研究所提案式

道路交通振動の予測に広く一般的に用いられ再現性のよい式である。本式は土木研究所が提案した式であり、以前の閣議決定による環境影響評価実施要項に基づく建設省（現、国土交通省）所管道路事業の環境影響評価に採用されてきた。

玄武岩

火山岩の一種で、一般に色指数が 35 または 40 以上、SiO₂ 量が 52% 以下のものをさす。化学組成、ノルムなどさまざまな基準によって細分される。日本では少量であるが、世界的にはもっとも大量に噴出する火山岩である。

【こ】

光化学オキシダント

大気中の、窒素酸化物や、炭化水素類が強い紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質の総称をいう。

鉱染鉱床

岩石中の微小な割れ目や空隙に沿って微小鉱石鉱物が散在してできた鉱床をいう。

古巣

以前使っていた巣のこと。

【さ】

さえずり

繁殖期に主に小鳥類の雄が発する特徴のあるよい声で、なわばり宣言と雌の誘致の機能があるといわれている。

酸化エチレン

常温常圧で無色の可燃性気体である。有機合成原料、ガス殺菌剤などに使用される。急性の毒作用は皮膚・粘膜の刺激、中枢神経系の障害がおもなもので、慢性中毒では中枢・末梢神経の障害が特徴的であり、呼吸器、血液への作用も認められている。また、発がん性の疑いも強い。

産業廃棄物最終処分場（安定型最終処分場）

環境に影響するような物質を生成しない不活性で無害な産業廃棄物しか投入できない処分場のことをいう。投入できるものは、特別管理廃棄物以外の産業廃棄物のうち、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類の 5 種類である。

【し】

シアン

無色、特異臭のある気体で、水、アルコール、エーテルに溶ける。くん蒸剤に用いられるが、溶鉱炉や石炭ガス燃焼時に発生することがある。生体解毒能を超えるシアンが体内に入ると頭痛、嘔気、呼吸困難などの症状が現れる。

四塩化炭素

常温で無色の液体で、かつては最もよく使用された塩素系有機溶剤であったが、現在ではあまり使用されていない。中毒症状は高濃度で中枢神経抑制による麻酔作用、麻酔作用を示さない程度の濃度でも頭痛、腹痛、また、低濃度では肝・腎障害を起こす。

1,2-ジクロロエタン

塩化ビニルモノマーの製造原料として使われる物質で、甘味臭を持つ。中毒症状は高濃度で眼・鼻・咽喉の刺激、急性及び亜急性症状は精神錯乱、めまい、嘔吐、肝・腎・副腎障害を起こす。

1,1-ジクロロエチレン

無色透明の揮発しやすい液体で、甘味臭を有する。主として合成樹脂製造原料として使用される。蒸気は呼吸器から容易に吸収され、肝障害を起こす可能性がある。

ジクロロメタン

常温で無色の液体。エーテル様のおいがある。溶剤、ゴム製造などに使用される。主な急性症状として麻酔、濃度が高くなるとめまい、四肢の知覚異常、さらに高濃度で意識喪失、死に至る。

シス-1,2-ジクロロエチレン

常温で液体、わずかに刺激臭があり、引火性、可燃性がある。溶剤、合成中間体に用いられる。中毒の急性症状は中枢神経の抑制作用が主で、肝・腎の障害は少ない。

1,3-ジクロロプロペン

常温で液体、可燃性である。土壌の燻蒸剤などとして使用される。動物実験では肝及び腎障害を認める。

自然環境保全基礎調査

自然環境保全基礎調査は、全国的な観点から我が国における自然環境の現況及び改変状況を把握し、自然環境保全の施策を推進するための基礎資料を整備するため、環境省が昭和48年度より自然環境保全法に基づき、概ね5年ごとに実施している調査である。本調査は、一般に緑の国勢調査と呼ばれ、陸域、陸水域、海域の各領域について調査項目を分類し国土全体の状況を調査している。

自動車排出ガス測定局

自動車排出ガスによる大気著しい汚染が生じ、または生ずるおそれがある道路及びその周辺の区域において、大気汚染の状況を常時監視する測定局。これらの測定結果は、環境基準の判断など、広く大気保全対策を講じていく際の基礎資料として活用されている。

地盤卓越振動数

交通振動や地震動は、地盤という媒体を介して、建物や人に振動が入力される。建物や地盤に微動計を設置して、常時微動(人体には感じない微小振動)を観測すると、スペクトル解析により、いろいろな振動数が確認される。ある特定の振動数成分が大きい場合、その振動数を卓越振動数という。(スペクトルとは、ある組成のものを分解した成分を、一定量の大小によって並べたものをいう。)道路交通振動からみた場合、地盤卓越振動数が15Hz以下の地盤を、軟弱地盤としている。

シマジン

畑作用除草剤が代表的な用途である。

臭気指数

人間の嗅覚で、その臭気を感じることができなくなるまで気体の希釈をした場合におけるその希釈の倍数を基礎として算定されるものをいう。なお、臭気指数が 10 未満の場合及び臭気強度が 2.5 未満の場合は、「住民の大多数が悪臭による不快感を持つことがない濃度未満」と言い変えることができる。

臭気強度	内容
0	無臭
1	やっと感知できるにおい（検知閾値濃度）
2	何のにおいであるかわかる弱いにおい（認知閾値濃度）
3	らくに感知できるにおい
4	強いにおい
5	強烈なにおい

樹洞（じゅどう）

大きくなった樹木にできる洞（穴）のこと。

上位性

ある地域の生態系の上位に位置するという性質。

硝酸性窒素

硝酸塩に含まれる窒素量のことをいう。水や土壌中の有機物分解により生成したアンモニウム塩が酸化された最終生成物である。

常緑広葉樹

1 年中葉をつける樹木。

植生

ある場所に生育する植物のまとまり。同じ植物のまとまりをさす場合でも、具体的なものをいう場合、植物群落あるいは単に群落という。

植生自然度

植生に対する人為の影響の度合いにより、日本の植生を 10 の類型に区分したもの。

植生帯

気候条件によって異なる植生のまとまり。

植物相

ある地域に生育している植物の種類組成。

食物連鎖

生物群集において、食う者（捕食者）と食われる者（被食者）の関係が一連のつながりを持った状態。

振動レベル

人体の全身を対象とする振動の評価尺度で、振動加速度レベルを振動感覚補正特性で補正した量。単位は dB(デシベル)。

【す】

水銀

銀白色の常温で液体である唯一の金属元素である。温度計、電極、水銀灯など幅広い用途をもつ。無機水銀化合物と有機水銀化合物に大別され、有機水銀化合物は腎障害を、無機水銀化合物は中枢神経障害を引き起こす。

【せ】

生態系

エコシステム。生物群集とそれを取り巻く大気、水、土等の無機的自然からなる物質系。

生物化学的酸素要求量 (B O D)

微生物が汚濁物質を分解するときには、私たちが呼吸をするのと同じように酸素を使う。汚濁物質が多いと微生物の数は、どんどん増え、使う酸素の量も多くなる。反対に汚濁物質が少ないと分解も楽で、微生物数はあまり増えず、使う酸素の量も少なくなる。そこで、水中の微生物が汚濁物質を分解するときに消費される酸素の量を調べ、汚濁物質量の目安とするもの、これを BOD (生物化学的酸素要求量) という。川の水の汚れは、汚濁物質を微生物が分解するときに使う酸素の量を調べることによって、間接的にその程度を知ることが出来る。

セレン

融解物は赤褐色で、顔料、ガラス着色剤、ゴム添加剤などに使用される。急性中毒症状として粘膜刺激、頭痛、呼吸不全などが、慢性中毒症状として顔面蒼白、呼気ニンニク臭、皮膚・胃腸障害などがある。

閃亜鉛鉱

色は黒、褐色、黄色、赤、緑、灰色、白などさまざまで、無色のものもある。条痕は淡い褐色か白。透明から半透明で、樹脂光沢から金属光沢をもつ。熱水鉱床で苦灰石や石英、黄鉄鉱、方鉛鉱、螢石、重晶石、方解石とともに生成する。

遷移

植物群落が別の群落に移り変わること。

全窒素

水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物に含まれる窒素の総量をいう。

全燐

水中に存在するいろいろな形態のリン化合物に含まれる燐の総量をいう。

【そ】

騒音レベル

騒音計の測定値をいう。すなわち、騒音計に規定される周波数補正回路の A 特性で重みづけられた音圧の実効値 P_A の 2 乗を、基準音圧 $P_0 (=20 \mu \text{ Pa})$ の 2 乗で除した値の常用対数 10 倍。したがって騒音レベル L_A は、

$$L_A = 10 \log \frac{P_A^2}{P_0^2}$$

で示される。単位は dB (デシベル)。dB(A) を用いてもよい。

層理面

一枚一枚の地層を境するもので、もとの堆積面にあたり、粒度や構成粒子の急変で示される。地層面ともいう。層理面は、堆積の休止期間に対応し、地層となる堆積物の定着が断続的に起きるためである。すなわち、層理面は、それより下位の地層が堆積後、その上面が水流や堆積物を含んだ水流により削剥されたり、生物の生活の場になったりした後、次に堆積物が定着したときに形成される。

続成作用

軟らかい堆積物が圧密とセメント化によって硬い岩石になっていく過程をいう。堆積物の粒子の隙間を通る地下水から水酸化鉄、珪酸、炭酸カルシウムなどが沈殿し、粒子間をうずめセメント化していく。

【た】

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)、コプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB) をまとめてダイオキシン類という。

ダイオキシン類は工業的に製造される物質ではない。主な発生源は、ごみ焼却による燃焼であるが、その他に製鋼用電気炉、たばこの煙、自動車排ガスなどの様々な発生源がある。通常は無色で水に溶けにくく、蒸発しにくい性質を持っている。一方、脂肪などには溶けやすい性質を持っている。なお、大気、水質、土壌に対して環境基準が設定されている。

大腸菌群数

人及び動物の腸管内の常在する一群の細菌である。大腸菌は本来、有害なものではないが、水中に大腸菌が検出されることは、その水のし尿汚染の可能性が大きく、有害な病原菌の存在も予想されるところから、より安全かつ簡便な大腸菌群数試験が広く行われている。

宅地造成工事規制区域

宅地造成に伴い、災害が生ずるおそれのある市街地または市街地になろうとする区域。

濁度

水の濁りの程度を表すもの。測定において標準物質にホルマジンを用いた時は度（ホルマジン）を単位として表示することが規定されている。

托卵（たくらん）

自分では巣をつくらず他の種類の鳥の巣に卵を産み込み、その後の卵や雛の世話を仮親（他種の親鳥）にまかせてしまう習性のこと。

炭化水素

炭素と水素からなる化合物の総称で、発生源は、自然界ではメタン、人為的には塗料、印刷インキ、接着剤、金属洗浄などに使われる溶剤に由来するものが多い。自動車の排ガスの中にも含まれている。

【ち】

地域森林計画対象民有林

都道府県知事は、全国森林計画に即して、森林計画区別に、その森林計画区に係る民有林（その自然的経済的社会的諸条件及びその周辺の地域における土地の利用の動向からみて、森林として利用することが相当でないと認められる民有林を除く。）につき、5年ごとに、その計画をたてる年の翌年4月1日以降10年を1期とする地域森林計画をたてなければならない。

チオベンカルブ

帯黄色の液体で、水田用除草剤などに使用される。

窒素酸化物

窒素の酸化物の総称。大気汚染を対象とした場合の窒素酸化物は一酸化窒素と二酸化窒素の混合物をさす。窒素酸化物は人の健康に影響を与え、窒素酸化物は紫外線により炭化水素と光化学反応を起こし、オゾンなど光化学オキシダントを生成する。

鳥獣保護区

鳥獣の保護繁殖を図るため、鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域。

チウラム

殺菌剤、ノネズミ、ノウサギの忌避剤などに用いられる。

【つ】

通過個体

上空を飛翔して過ぎ去った個体のこと。

【て】

デイサイト

火山岩の一種。最近では石英班晶の有無にはこだわらず、色指数が10以下。ノルムAnがOnより多いものを呼ぶことが多く「石英安山岩」は同義語であるが使われることが少なくなった。一般には斑状組織を示し、班晶は斜長石、石英、角閃石、輝石、黒雲母などからなり、石基は微晶質またはガラス質であることが多い。SiO₂量が一般に66～70%程度である。日本の新生代の火山噴出物にはよくみられる。

テトラクロロエチレン

ドライクリーニングの洗剤、金属の脱脂洗剤、乾燥剤、一般溶剤、殺虫剤など広く使用されている。急性中毒例では、めまい、頭痛、黄疸、肝機能障害がみられている。

電気伝導率

面積がそれぞれ 1cm^2 の 2 本の電極を距離 1cm に相対して置いたとき、電極間にある物質のもつ電気抵抗の逆数をいう。

典型性

ある地域の生態系の特徴を典型的に現す性質。

【と】

銅

生体の必須微量元素であるが、環境に放出された金属の中で下等生物に対して毒性の強いものの一つである。人や高等生物は銅の毒性を低下させる機能があるが、下等生物はその機能が不十分である。植物に対する銅の害作用は、根の生育や養水分の吸収を阻害することを通して現れる。

等価騒音レベル (LAeq)

新環境基準に用いられているレベル値で、ある時間範囲 T について、変動する騒音レベルをエネルギー的な平均値として表したものである。

異なる音源からの騒音を合計したり、逆に特定の音源の寄与割合を求めたりといった演算の合理性に富む。このことにより、音響的な計算が簡便であり、予測計算方法も単純化される。また、睡眠影響やアノイアンス (人に感じられる感覚的なうるささ) との対応にも優れているとされている。

道路交通振動

自動車は道路を通行することに伴い発生する振動。

道路交通騒音

自動車は道路を通行することに伴い発生する騒音。

特殊性

特殊な環境であることを特徴づける性質。

特定植物群落

自然環境保全基礎調査において、選定基準により取りまとめられた全国の貴重な植物群落の総称。

特別管理産業廃棄物

産業廃棄物のうち、爆発性、毒性、感染性、その他の人の健康または生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有するもの。

ドラミング

キジやヤマドリが翼を地面に打ちつけて出す太鼓のような音。また、キツツキ類がくちばしで樹木を激しくつついて、造巣や採餌のための穴を掘る際に出るリズムカルな音。

1,1,1-トリクロロエタン

常温で無色の液体で、甘味臭を有する。主に溶剤として用いられている。中毒は中枢神経抑制作用作用が主体であり、器質的障害はほとんど示さない。軽い眠気が主な自覚症状で、軽度の眼の刺激及び頭痛がこれにつぐ。

1,1,2-トリクロロエタン

常温では無色の液体で、甘味臭を有する。生体に及ぼす影響は中枢神経抑制と肝障害である。

トリクロロエチレン

常温で無色の液体である。溶剤、特に金属機械部品などの脱油脂洗浄剤、麻酔剤などに使用されている。中毒の急性症状は中枢神経系に対する抑制作用であり、非常に高濃度では麻酔が起こり、低濃度では酩酊状態となる。

【な】

75%値

生物化学的酸素要求量(BOD)等生活環境項目の環境基準に対する適合性の判断方法として、低水流量に相当する水質である75%水質値が用いられている。これは年間を通じて3/4(75%)はその値を超えない水質を示すものであり、年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ、 $0.75 \times n$ 番目(n:日間平均値の全データ数)のデータ値をもって75%水質値とする。

ng(ナノグラム)

ナノは単位の一つで10億分の1を示す。

鉛

蒼白色の柔らかい金属で、鉛蓄電池の極板などに使用される。血液中鉛濃度が上限を超え中毒が進むと頭痛、不眠、食欲不振、貧血などの症状がみられる。

【に】

二酸化硫黄

硫黄を含む化石燃料(石炭、石油)の燃焼等により発生する無色、腐敗した卵に似た刺激臭の気体。

二酸化窒素

大気中では、一酸化窒素の酸化により生成する気体。

ニッケル

銀白色の金属で、貨幣、家具、機器、電池などの原料、ステンレス鋼などに使用される金属ニッケル粉末及び酸化ニッケルの吸入によりのどの痛みや慢性気管支炎、リンパ組織の増殖が見られる。

日本音響学会による道路交通騒音予測式(ASJ Model 2003)

道路交通騒音(等価騒音レベル)の予測に広く一般に用いられ、再現性のよいモデルである。等価騒音レベルは、ある時間範囲Tについて、変動する騒音レベルをエネルギー的な平均値として表したものである。この手法は、異なる音源からの騒音を合計したり、逆に特定の音源の寄与割合を求めたりといった演算の合理性に富む。このことにより、音響的な計算が簡便であり、予測計算方法も単純化される。また、睡眠影響やアノイアンス(人に感じられる感覚的なうるささ)との対応にも優れているとされている。

【ぬ】

【ね】

【の】

農業振興地域

自然的経済的社会的諸条件を考慮して、一体として農業の振興を図ることが相当であると認められる地域で、以下の要件をそなえる地域とする。①その地域内にある土地の自然的条件及びその利用の動向からみて、農用地等として利用すべき相当規模の土地があること。②その地域における農業就業人口その他の農業経営に関する基本的条件の現況及び将来の見通しに照らし、その地域内における農業の生産性の向上その他農業経営の近代化が図られる見込みが確実であること。③国土資源の合理的な利用の見地からみて、その地域内にある土地の農業上の利用の高度化を図ることが相当であると認められること。

農用地区域

農業振興地域の中で、特に農業の振興を図る必要がある農地等については、市町村長が定める「農業振興地域整備計画」の中で、「農用地区域」として位置付けられ、この区域内の土地は農業以外に利用することはできない。

やむを得ない理由で農用地区域から除外したり、新たに農用地区域に編入したいときは、市町村の農業振興地域整備計画の変更手続きが必要となる。

ノルム

火成岩の化学組成は、ふつう酸化物の形で示されるが、岩石中に実際に含まれる鉱物の種類や量比（モード）との関連を知るには不便である。そのため岩石の化学分析値から、一定の規則により計算を行い、標準鉱物（ノルム鉱物）の重量百分率で表したものをノルムと呼ぶ。ノルム鉱物はもともと単純化された化学組成であり、計算されたノルムは仮想的なものであるが、岩石中に角閃石・雲母などを含まない場合、ノルムはかなり正確に岩石中の構成鉱物比を表す。また、ガラス質な火山岩やきわめて細粒な岩石の比較検討に有効である。

【は】

徘徊性の昆虫類

地上を這って移動する昆虫類で、アリ類、ゴキブリ類等。

バットディテクタ

コウモリ類の出す音声(超音波)を人の耳で聞こえる可聴音に変換する装置のこと。

パフモデル〔無風時・弱風時〕

大気汚染の拡散モデルの一つ。煙源から瞬間的に排出された大気汚染物質の塊をパフという。時間とともに移送・拡散の状況を予測するモデル。移送・拡散の場を非定常と考え、ある時刻の濃度分布とパフの排出量を初期条件として、次の時刻での移送・拡散を逐次計算方式で求める。気象条件の時間的、空間的变化に近似的に対応が可能。非定常、非均質の場に適用できる。

パワーレベル

音響出力(単位時間に発生する音のエネルギー)を対数表示することにより定量化したもの。基準の音響出力 W_0 (=10-12Watt) に対していま考察する音響出力 W が何倍大きいかを常用対数表示したもの。すなわち、パワーレベル: $PWL=10\log_{10}W/W_0$

班晶

火山岩や半深成岩では一般に斑状構造がみられ、大きな結晶すなわち班晶とより小さな結晶やガラス等(石基)からなる。通常肉眼で識別できる程度の大きさの結晶を班晶と呼ぶ。顕微鏡観察により、とくに班晶と石基の中間的大きさと認められた場合には微班晶と呼んで区別することもある。またとくに大きい班晶は巨班晶と呼ばれる。班晶は石基と比べて結晶時間が十分長かったと判断されることから一般的に地下深所で徐冷したものと考えられている。

【ひ】

pg(ピコグラム)

ピコは単位の一つで1兆分の1を示す。

PCB

ポリ塩素化ビフェニル。コンデンサー、熱媒体などに用いられた。これらの製造過程や製品の廃棄から環境中に放出される。中毒例では、皮膚障害、消化器障害、肝障害などの症状がある。

飛翔性の昆虫類

空中を飛んで移動する昆虫類で、チョウ類、トンボ類、ハチ類等。

砒素

無機砒素は木材の防腐、防蟻剤などに、高純度金属ヒ素は半導体の原料になる。ヒ素中毒症状は、体重減少、悪心、多発性神経炎、肝障害などである。また、皮膚がん、肺がんの発生も認められている。

ppm

Part(s)per million の略で、百万分率を表す。例えば、「大気中に物質Aが2ppm存在する」とは、1 m³の大気中に2ml(ミリリットル)の物質Aが存在する」ということになる。

非メタン炭化水素

炭化水素により大気汚染を評価する場合、メタンは光化学的に活性が低いため、全炭化水素からメタンのみを除外したそれ以外の相対的に光化学活性の高い炭化水素を一括して非メタン炭化水素という。

【ふ】

フェノール類

芳香族化合物のベンゼン環の水素がOH基で置換された化合物の総称である。天然水中には存在しないが、化学工場排水、ガス製造工場排水などに含まれる。フェノール類が含まれていると水の塩素処理の過程でクロロフェノール類を生成し、水に著しい異臭味を与える。

伏流水

河川の側部又は底部の透水性のよい地層中を流れる地下水のことで、一般的には河川水との交流を維持しながら流されているものをさす。河川水と伏流との交流関係は、河川の水位と地下水面との関係で規定される。

1,3-ブタジエン

合成樹脂などの原料として使用される。急性中毒では眼と上気道に軽い刺激があり、高濃度になると、咽喉痛、頭痛、めまい、意識消失などが生じるが、新鮮な空気を吸入すれば症状は急速に消失する。

ふっ素

常温では淡黄色に特異臭のある気体で、天然には単体として存在せず、種々の元素と結合して自然界に広く存在し、土壌、水、空気、動植物体内のほとんど全てに含まれる。冷媒、防腐剤、殺虫剤などの製造原料である。摂取による生体への影響は、骨硬化症、運動機能障害、腎障害などがある。

浮遊物質（SS）

水中に浮遊する小粒状物の総称のことで、日本工業規格（JIS）では懸濁物質という。プランクトン、生物体の死骸・破片・糞やその分解物、それに付着する微生物などの有機物、及び泥粒などの無機物からなる。SSの多少は、水中照度の減衰に大きく関係する。

浮遊粒子状物質（SPM）

大気中に浮遊する粒径 $10\mu\text{m}$ ($1/100\text{mm}$) 以下の粒子状物質のこと。

ブルームモデル〔有風時〕

大気の拡散予測式の一つ。移送・拡散の現象を煙流（ブルーム）で表現する。風、拡散係数、排出量等を一定とした時の濃度分布の定常解を求める。計算が比較的容易で、長期平均濃度の推定に適している。定常の場合、濃度の空間分布を求めるのに適している。

粉じん

一般に気体中に浮遊している微細な固体の粒子状物質の総称で、ダストともいう。呼吸により吸引される微粒子は吸入性粉じん、または呼吸可能粒子という。

【へ】

ヘキサン抽出物質

油分の試験法の一つであるヘキサン抽出物質試験において抽出、測定される物質で、水中の油分の指標の一つである。

pH

水素イオン濃度指数のことである。数値が低いほど酸性、高いほどアルカリ性を表す。

ベリリウム

軽く、強靱で、耐食性、熱伝導性、耐延性にすぐれる金属である。ベリリウムと他の金属との合金は種類が多く、金属ベリリウムは宇宙開発構造材などに用いられる。ベリリウムによる健康障害には接触性皮膚炎、結膜炎、気管・気管支炎などがある。

ベンゼン

常温常圧では無色の液体で特有の芳香がある。かつては典型的な溶剤として使用されたが、その用途はほとんど他の溶剤によって代替された。自動車用ガソリン中にも存在する。毒性には麻酔作用、骨髄の造血機能を傷害する作用がある。

ベンゾ[a]ピレン

淡黄色の針状結晶あるいは板状結晶で、コールタール中、自動車排ガス、タバコの煙、その他燃焼に伴う排ガス中に存在し、発がん性を示すことが確認されている。

【ほ】

保安林

水源のかん養、土砂の流出・崩壊の防備、飛砂の防備、風害・水害・潮害・干害・雪害または霧害の防備、雪崩または落石の危険の防止、火災の防備など生活環境の保全形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣または都道府県知事によって指定される森林。

方鉛鉱

色と条痕はどちら鉛色である。不透明で金属光沢をもつ。熱い溶液が地殻の表面近くまで上昇して、熱水鉱床中に生成する。螢石や石英、方解石、閃亜鉛鉱、黄鉄鉱などといっしょに産することもある。

方解石

色は白、灰色、赤、褐色、緑、黒などがあり、条痕は白か灰色である。透明から半透明で、ガラス光沢と真珠光沢、にぶい光沢をもつ。いろいろな岩石中でできる。石灰岩や大理石の構成要素である。

ほう素

自然界において様々の化合物で存在する。鉄合金などの硬さ増加材、着火防止剤などに使用される。ほう素そのものは中枢神経系障害を起こす。中毒症状としては循環機能の低下、嘔吐、下痢、それに続くショックや昏睡症状がみられる。

ボーリング調査

特殊な機器を用いて地中に孔を掘り、地質構造などを調べる調査。

ホルムアルデヒド

常温では無色の可燃性の刺激性気体である。農薬、脱臭剤、消毒剤、防カビ剤、殺菌剤、殺虫剤、薬品などに使用される。眼・鼻・咽喉を刺激し、ガス・溶液とも皮膚の一次刺激性による皮膚炎と感作性皮膚炎を起こす。

【ま】

マニフェスト

産業廃物の適正処理をその排出から処分まで確実に管理するための積荷伝票。廃物の排出事業者は、氏名、廃棄物の量・性状・運搬先等を記入して運搬業者及び処分業者がサインしたマニフェストを作成して、これを排出事業者、収集・運搬業者、処分業者が各1枚保管し、最後の1枚が処分業者から事業者に戻されて最終的に確認する方法がとられている。

μg(マイクログラム)

マイクロは単位の一つで100万分の1を示す。

マンガン

灰白色ないし銀色のもろい金属で、乾電池、肥料、写真材料、花火などに使用される。マンガン中毒では、多彩な神経症状が進行的に出現し、精神障害がみられることもある。また、呼吸器障害（肺炎・気管支炎）が起こることもある。

【み】

【む】

【め】

【も】

猛禽(もうきん)類

比較的大型の脊椎動物を捕食(肉食)して生活するタカ・ワシ等の鳥類。

木本類

樹木の総称。また「草本類」は草の総称。

【や】

【ゆ】

有機りん

殺虫剤として使用される。中毒は、頭痛、全身倦怠感など多くの神経系の刺激症状がみられる。

【よ】

溶解性鉄

水中に溶存している鉄のことをいう。

溶解性マンガン

水中に溶存しているマンガンのことをいう。

溶存酸素 (DO)

水に溶けている酸素のことで、水質がきれいなほど、溶存酸素は高くなる。

【ら】

落葉広葉樹

夏には葉をつけ、冬には落葉する樹木。

【り】

留鳥

季節によって移動せず、一年中ほぼ同じ地域に棲む鳥類。また「夏鳥」は春から初夏にかけて南方から飛来して繁殖し、秋に再び南方へ渡る鳥類。「冬鳥」は秋に北方から飛来して越冬し、春に北方に帰って繁殖する鳥類。

流紋岩

火山岩のうちもっとも珪長質なもので、深成岩では花崗岩がこれに相当する。産状は溶岩・火砕岩、岩脈などさまざまで、日本では白亜紀と新第三紀に大量に噴出した。しばしば、流理構造がみられるのが岩石名の由来。一般に斑状で石英、アルカリ長石、ソーダ斜長石などの班晶を含み、石基はガラス質または隠微晶質、珪長質であることが多い。一般には SiO_2 が 70% 以上の火山岩を呼ぶことが多い。

磷酸態磷

リン酸イオンをそのリンの量で表したもので、リン酸を含めたリン化合物は富栄養化の主要因子であり。水質汚濁の指標となる。主な発生源は、し尿、肥料などである。

【る】

【れ】

礫岩

礫を主体とする堆積岩、礫の間を充填する基質はふつう砂や砂泥だが、珪質や石灰質なこともある。礫の大きさから、細礫岩、小礫岩、大礫岩、巨礫岩と、また礫の円磨度から円礫岩や角礫岩などと分類される。

裂か水

岩石や地層中の割れ目、節理、空洞などを満たしている地下水である。

レッドデータブック

国際自然保護連合 (IUCN) が世界各国の専門家の協力によって作成した絶滅のおそれのある種のリストや、生態、圧迫要因等を取りまとめたデータ集。日本においても環境省が専門家の協力を得て、「日本の絶滅のおそれのある野生生物(日本版レッドデータブック)」を取りまとめている。

【ろ】

六価クロム

クロムの原子価が 6(6 価)の化合物をいう。このうち発ガン性のあるクロム化合物もある。

【わ】